

## 1. はじめに

法人中・長期計画に基づいて進めて参りました、るうてるホームの移転、改築計画が2012年6月、正式に大阪府の補助金事業として補助金交付の決定を受けることができましたことを感謝してご報告いたします。

すべての関係者並びに、理事・評議員の方々のお支えと、ご協力を心から感謝申し上げます。今後は2013年10月の開所を目指して、特に入居しておられる方々への適切な対応に取り組む所存です。

### (1) 2011年度の法人の取り組み

2011年度事業計画に沿って以下に報告いたします。

- ①法人は(1)中・長期的展望による人材育成、(2)建替え事業の推進、(3)財務管理と合理的な組織運営を方針と定め、2011年度の運営にあたってきました。

中・長期的展望による人材育成については、当法人が所属する「ルーテル社会福祉協会」のメンバーである東京老人ホーム、特別養護老人ホームディアコニアとの合同理念研修を6月に実施いたしました。それぞれの法人の幹部候補職員が二泊三日、共同生活を行い、同じキリスト教を基盤として設立された各法人の理念、歴史を共有し、この理念の継承と歴史の当事者が自分たちなのだという意識付けを行う研修を行いました。これについては今後も研修の形態はかわりますが継続する予定です。

また、昨年度から始まったチャプレンによる「キリスト教講座」は管理職研修において2回、主任研修において1回、開催いたしました。介護の実践的な課題である接遇訓練については、外部から講師を招き開催いたしました。

- ②建替え事業の推進につきましては、約2年間に亘り進めてきた土地の売買契約を2011年12月22日に締結することができました。また四條畷市教育委員会の指導によって埋蔵文化財調査が実施されましたが、結果として重要な埋蔵物は発掘されませんでした。そして、年明けから実施された開発工事も予定通り行われ3月末に完了いたしました。同時並行的に行われてた大阪府との施設整備補助金協議も順調にすすみ、業務の合間を縫って週2日の頻度で実施された建築委員会は、設計会社と設計の詳細を詰める作業を担いました。お客様に最も近いところにいる職員の立場を設計に反映できたことで、高齢者・障害者に仕えるという法人の理念の具体化を建物の設計においても実現することになったのではないかと自負しております。
- ③財務管理と合理的な組織につきましては、3月6日に実施された大阪府による法人監査において、何点かの軽微な指摘を受けたものの、すべて適切に改善したことを報告しました。
- ④組織運営につきましても、建築委員会、保健衛生委員会、地域交流委員会、危機管理委員会は、それぞれに一年目の活動を行い、課題の抽出と対応を開始しています。より一層の充実が期待されます。
- ⑤決算におきましては介護保険収入が前年度比(利用料含む)13,434千円(前年度比▲4%)、予算比で19,430千円(予算比▲6%)の減収となりました。詳細は各事業所報告に譲りますが、次期の介護保険改定では明らかに減収(地域区分の見直し)が見込まれていることから、この問題についての分析と対応に法人事務局の責任において取り組む所存です。
- ⑥最後に、法令順守の問題については介護保険法だけでなく、医療法などの関係法令も含めた目配りが必要です。自己点検を徹底し、また各関係法令についての学びを深め、より一層の法令順守を徹底していく所存です。

## (2) 理事会・評議員会

① 2011年度に行われました、理事会・評議員会は以下のとおりです。

2011年	5月26日	第1回理事会	第1回評議員会	於：るうてるホーム
2011年	6月27日	第2回理事会		於：大阪教会
2011年	10月15日	第3回理事会		於：大阪教会
2011年	11月24日	第4回理事会	第2回評議員会	於：大阪教会
2012年	3月29日	第5回理事会	第3回評議員会	於：るうてるホーム

② 2011年度の監事監査は、5月19日に行われました。

## (4) 2011年度事業概要 (2012年3月31日現在)

① 実施事業数：16事業 (うち四條畷市委託事業3)

(老人福祉法・介護保険法)

軽費老人ホームA型、広域型特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、  
通所介護事業 (B型、D型)、訪問介護事業、訪問看護事業、居宅介護支援事業、  
地域包括支援センター

(障害者自立支援法)

居宅介護等支援事業、生活介護 (基準該当)、日中一時支援事業、短期入所事業

(市委託事業)

配食サービス事業、シーツ包布貸与事業、外出支援移送サービス事業、

② 総事業費 591百万円 (10年度591百万円)

③ 職員数 113名 (うち非正規56名)

## 2. チャプレン

法人理念の浸透のために、管理職研修会で2回、中堅職員研修会で1回、「キリスト教講座」を開講いたしました。前年の反省を生かし、今期は「スピリチュアリティ」に焦点をあてて学びを行いました。『癒しを求める魂の渇き スピリチュアリティとは何か』(窪寺俊之編著 聖学院大学出版会 2011年)を底本にしました。今後一方的な座学の形がいいのか、もう少しフロアーからの問いに答える形がいいのか自問自答しています。職員の方々の言語体系と正しく対話する訓練をチャプレンとして身につけていくことの大切さを痛感しております。研鑽に努めます。

なお、法人ニュース (letter one) は3回発行し、理事長の立場ではありますが、イースターや、クリスマスの意味について触れることでキリスト教の理解を深める一助になればと期待しています。

また、今年のはじめて「法人報」という形で主に建築の進捗の報告を行いました。今後は、法人運営の現況をお伝えする「法人報」と、そこに関わる人たちが信仰的な視点で信仰を建德的に分ち合う形の「後援会ニュース」という二つの形で内外にるうてるホームを広報していく予定です。

## 3. 軽費老人ホームるうてるホーム

### (1) 運営概況

2011年度は入退居者の多い年でしたが、入居の問い合わせはあるものの介護ニーズや経済的な理由により入居には至らないことも多く、入居者獲得が困難な年でした。

現在の入居者も高齢化や重介護化がすすみ、介護保険サービス利用者も増加しています。入居者の

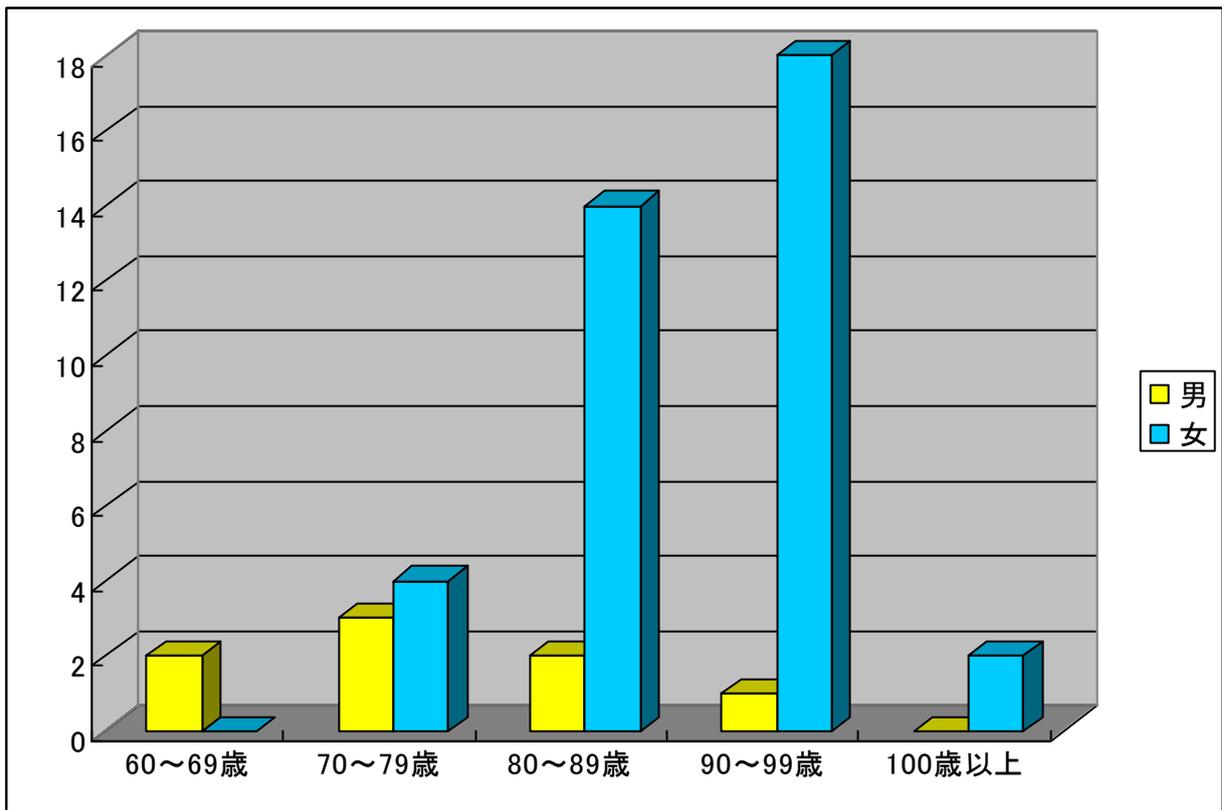
大きな関心事としては、「自身の病気や体調の変化などに対する不安」です。その為に職員の役割について再考し改善を行ってきました。特に相談員の業務から運転業務を切り離したことで、相談や面接に以前に比べ時間をかけることができました。また年間を通じて介護職の全員がアセスメントの勉強会に取り組み、アセスメントやケアプラン作成の手法を学んだことで、入居者のニーズや課題を明確にし、チームとして関わる事ができたことは大変嬉しいことでした。

さらに初めての男性職員が加わったことで、男性の入居者のケアについても改善が図られ、クラブ活動に男性の参加者が増えるなどの効果も得られています。

(2) 事業実績

	2011 年度	2010 年度	差異
のべ利用者数	14,982 名	15,652 名	670 名
入院日数 (人数)	1,819 日 (21 名)	1,214 日 (17 名)	605 日 (4 名)
短期入所利用者日数	440 日 (12 名)	237 名 (15 名)	203 日 (3 名)
稼働率 (対実員)	87.1%	91.2%	▲4.1 %

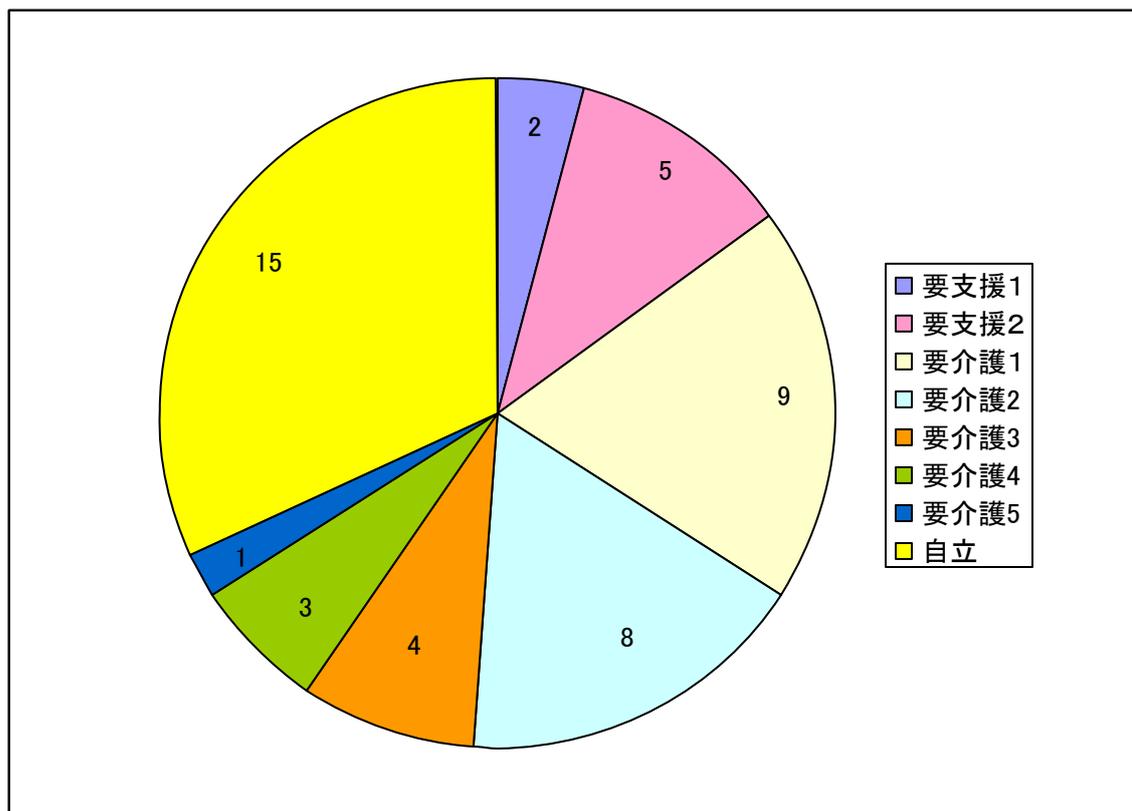
(3) 入居者の概要



年齢構成

(最高齢) 男性 94 歳 : 女性 107 歳

(平均年齢) 男性 78 歳 : 女性 88.7 歳



介護度別状況

#### 4. 特別養護老人ホームるうてるホーム

##### (1) 運営概況

2011年度は、全職員が一丸となって感染症対策に取り組んだ結果、地域や近隣施設でインフルエンザやノロウイルスが猛威をふるう中、ホーム内での発症はありませんでした。看護師が3名体制に戻ったことで、より充実した健康管理を行えるようになりましたが、入居者の体調不良が相次ぎ、入院者は前年比50%増となりました。年間で9名が入居、10名が退居されました（退居者の内6名が3ヶ月以上の入院ののち退居）。退居後も、各種制度の手続きや洗濯物の対応等、可能な限り支援するよう努めました。また、昨年度男性用ベッドを2名分増やしましたが、利用が伸びなかったため、女性用のベッドへ戻しました。

職員については、非常勤4名が退職し、常勤1名、非常勤4名が入職しました。また、前年度非常勤として採用した介護職員1名を常勤化しました。相談員が1名体制となったことでの不在時の対応として、施設ケアマネジャーを中心に他職種との業務連携を模索してきました。

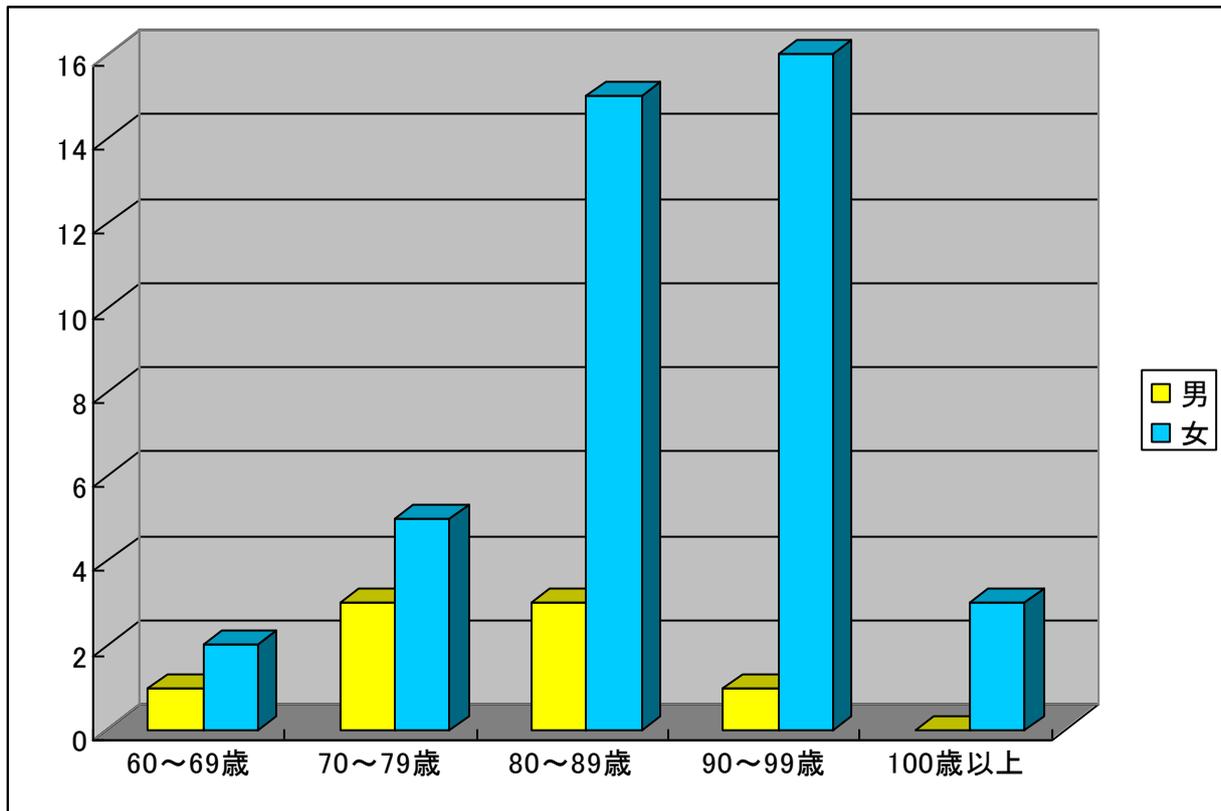
支出減への取り組みとしてリネンサプライの納入単価を見直しましたが、エアコン等の設備の故障が相次ぎました。

建替えに向けた取り組みとしては積極的に他法人施設やショールームなどを見学し、ケアのあり方や必要な設備、備品等の検討などを始めました。また、近隣のユニット型特養への現任研修を実施することを始めました。

(2) 事業実績

	目標	2011年度	2010年度	目標との差異
のべ利用者数	17,202人	16,538人	17,002人	▲664人
稼働率	94.0%	90.4%	93.2%	▲3.6%
平均介護度	—	3.9	4.0	—

(3) 入居者の概況



年齢構成

(最高齢) 男性 91 歳 : 女性 100 歳 (平均年齢) 男性 78.8 歳 : 女性 87.8 歳

**5. るうてるホーム短期入所生活介護事業所**

(1) 運営概況

短期入所のニーズについてはできるだけ利用される方の希望に添えるようにしていますが、急な入院、体調不良等でキャンセルになることもあるため、安定的な運営までには至りませんでした。

2011年度は相談員1名体制でしたが、新規利用については引き続き積極的に開拓し、42件(内2件は自立支援)、のべ277日の利用がありました。

また、30日を超える長期利用は4名あり、内3名が入居されました。長期利用はのべ利用者数の約2割を占めています。

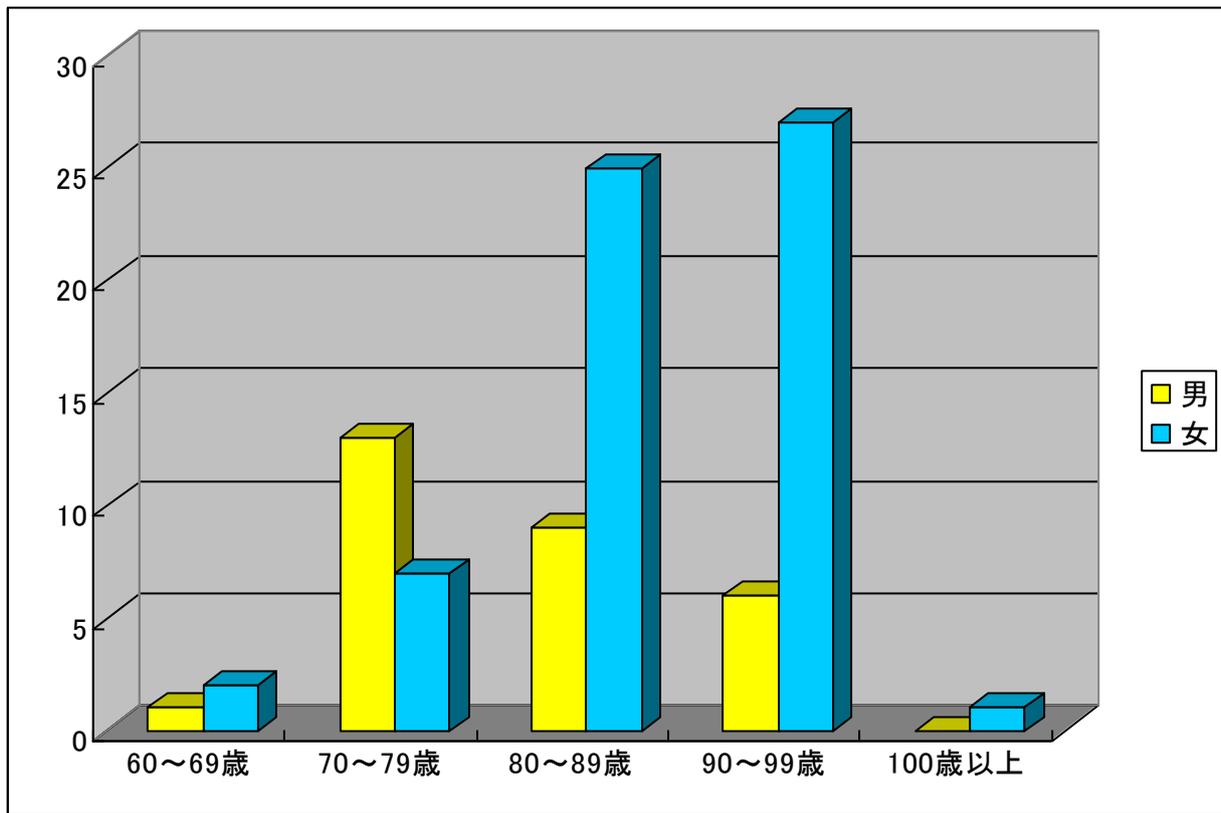
利用背景は介護者の介護疲れや体調不良、軽費入居者の体調不良などが多く、緊急利用にも応じました。介護や看護の必要度が高い方、所在確認を要する方の受入れなど、受け入れる側の課題もありますが、その都度必要な支援方法を検討し、利用される方が安全・安楽に過ごしていただけるように努めました。

(2) 事業実績

	目標	2011年度	2010年度	目標との差異
のべ利用者数	3,514人	3,523人	3,603人	9人
稼働率	120.0%	120.3%	123.4%	0.3%

上記の他、障害者自立支援法に基づく短期入所利用が年間のべ156日ありました。

(3) 利用者概況



年齢構成

(最高齢) 男 81歳 : 女 97歳

(平均年齢) 男 73歳 : 女 86.7歳

(平均利用) 9.6人/日

**6. るうてるホームサービスセンター通所介護事業所/障害者デイサービスセンターるうてる**

(1) 運営概況

2011年度は、新規の利用者開拓、新サービス・プログラムの開発プロジェクト、満足度向上・サービス改善プロジェクトを立ち上げ、利用者の定着率向上やサービスの質を高めていく2つの狙いを持って進めてきました。

プロジェクトM(満足度のM)は、サービス改善や満足度向上の会議を行い、いくつかの課題(入浴待ちの時間過ごし方や入浴をゆっくり楽しめるように等)を改善しました。また、様々な情報共有の方法や休止利用者の追跡調査、独自のパンフレットを作成するなどしました。

KKP(開発・改善プロジェクト)も昔遊びとして竹細工や紙芝居の実施、ハンドマッサージ、手芸の日などの新プログラムを立ち上げ、喜んでいただける時間を提供することができました。

しかし、実績については、入院や死去などによる休止が例年以上に多く、新規利用獲得も昨年度を

上回りましたが、目標を達成することには至りませんでした。

リスクマネジメントへの取り組みとしては、引き続き、事故発生後すぐに状況、課題を分析するように努めてきました。気の緩みからの事故が発生してしまうこともありましたが、コミュニケーションや課題の共有方法を見直し、改善を図りました。

## (2) 事業実績

	目標	2011年度	2010年度	目標との差異
(高齢)延べ利用者数	9,420人	8,548人	8,929人	▲872人
1日平均利用者数	30人	27.2人	28.6人	▲2.8人
稼働率(40名定員)	87.5%	76.6%	81.3%	▲10.9%
(障害)延べ利用者数	1,570人	1,077人	1,214人	▲493人
1日平均利用者数	5人	3.4人	3.9人	▲1.6人
営業日数	314日	314日	312日	-

①障害者デイサービスは今年も自立支援から介護保険サービスに移行した利用者がありました。

②介護保険サービスは、新規45名を獲得したものの入退院や入所、死去など、再開17名に対し休止者が65名となりました。

## 7. 四條畷市委託事業

### (1) 運営概況

配食サービス、リネンサービス共に昨年に引き続き、減少傾向です。配食サービスについては、新規利用があるものの、終了も依然多くありました。リネンサービスは、前年度とあまり変化のない利用状況で、外出支援移送サービスの実施はありませんでした。

### (2) 事業実績

#### ①配食サービス

	2011年度	2010年度	差異
利用者数	143人	161人	▲18人
配食数	1,852食	2,178食	▲326食

#### ②リネンサービス

	2011年度	2010年度	差異
対象者数	93人	98人	▲5人
のべ枚数	1,133枚	1,206枚	▲73枚

#### ③外出支援移送サービス

	2011年度	2010年度	差異
利用実人員	0人	2人	▲2人
のべ利用者数	0人	2人	▲2人

## 8. デイサービスセンターるうてる通所介護事業所

### (1) 運営概況

2011年度は、新しい場所や建物に慣れ、サービスの内容を発展させることを最も大きな課題としていました。結果、ハード面、立地環境に合った行事や活動内容を試行錯誤しながら新しい取り組みに繋げていくことができました。また、利用者の満足度を念頭に置いた「その人らしい、利用者の気持ちに寄り添ったサービス提供」を継続して行うこともできました。

昨年度に比べて研修や会議に参加する機会が増えています。職員のモチベーションや責任感などが高まり、いい効果が得られています。特に職員会議では、言葉遣いについて改めて確認することを行いました。

実績としては、設定した目標月平均利用者数8.5名を達成していました。

### (2) 事業実績

	目標	2011年度	2010年度	目標との差異
営業日数	260日	260日	257日	-
利用実績	2,210名	2,217名	2,206名	7名
稼働率(対定員)	85.0%	85.2%	85.8%	0.2%
一日平均利用者数	8.5名	8.52名	8.58名	0.02名

## 9. 四條畷第1地域包括支援センター

### (1) 運営概況

2011年度は、運営方針として個別支援と地域支援の一体的実践を目指していきました。具体的には、指定介護予防支援と包括的支援事業を一体的事業としてとらえ、予防プラン作成などの個別支援や各教室の開催を通して各地区や関係機関とネットワークを構築し、相談窓口として信頼されるよう努めました。また、運営方針を徹底するために、指定介護予防支援について予防プラン作成専門のケアプランナーを配置すると年度当初の事業計画を見直しました。予防プランの委託を前提に、現行配置の3専門職(保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員)による包括的支援事業との連動を重視した個別支援と地域支援の一体的な実践に取り組むため、直営での予防ケアプラン作成数を増やしつつ地域支援に展開する実践を行いました。

### (2) 事業実績

#### ①包括的支援事業

##### ア. 総合相談支援事業

相談実績	2011年度	電話	F A X	来所	訪問	その他	計
	実人数	201	1	66	103	29	400
	延件数	332	1	84	151	32	600
	夜間緊急	0	0	0	8	0	8
相談実績	2010年度	電話	F A X	来所	訪問	その他	計
	実人数	110	0	30	16	8	164
	延件数	148	0	36	19	8	211
	夜間緊急	0	0	0	0	0	0

イ. 介護予防ケアマネジメント業務

	2011 年度	2010 年度
二次予防高齢者ケアプラン作成数	0 件	2 件

ウ. 権利擁護事業

( ) は実人数

	2011 年度	2010 年度
権利擁護に関する相談	10 件(8 人)	2 件(2 人)
高齢者虐待に関する相談	18 件(10 人)	4 件(3 人)

エ. 包括的継続的マネジメント業務

( ) は実人数

	2011 年度	2010 年度
介護支援専門員支援に関する相談	57 件(43 人)	8 件(9 人)

②指定介護予防支援に係る事業

	2011 年度	2010 年度	差異
要支援者ケアプラン作成数	1,205 件	1,123 件	82 件
うち委託件数	1,019 件	1,002 件	17 件
うち自事業所作成件数	186 件	121 件	65 件

③介護予防事業

ア. 介護予防普及啓発事業 介護予防教室・介護予防に関する講演会 ( ) は参加人数

	2011 年度	2010 年度
開催回数	3 回(47 人)	4 回(89 人)

イ. 地域介護予防活動支援事業 ( ) は参加人数

	2011 年度	2010 年度
運動サポーター養成講座	0 回(0 人)	1 回(18 人)
運動サポーターフォロー講座	1 回(35 人)	1 回(37 人)
運動サポーター連絡会議	4 回(40 人)	3 回(33 人)
カラコロ体操	72 回(1,224 人)	46 回(1,203 人)
その他の事業(ボランティア活動支援等)	0 回(0 人)	14 回(177 人)

ウ. 二次予防事業対象者に関する実態把握

	2011 年度
基本チェックリスト未回収者戸別訪問	10 人

④その他の事業

ア. 家族介護支援事業 ( ) はのべ参加者数

	2011 年度	2010 年度
家族介護教室	3 回(115 人)	2 回(25 人)

イ. 認知症高齢者見守り事業 ( ) はのべ参加者数

	2011 年度	2010 年度
認知症に関する教室・講演会	2 回(72 人)	1 回(52 人)

## 10. るうてるホームサービスセンター居宅介護支援事業所

### (1) 運営概況

2011年度は、事業計画に挙げた「法令順守の徹底」により自主点検を進め、各必要書類の見直しを行いました。また、職員それぞれの意識や理解の違いも見られたため、特に記録に関して事業所内で法令順守意識の維持を取り組みました。そして、2ヶ月に一度と設定した自主点検については、チェックシートを作成し、実施しています。

苦情受付体制については、介護支援専門員一人一人の意識を高め、今までは“苦情”とは認識していなかった利用者からの声を苦情としてとらえ、苦情をケアマネジメントの改善につなげようとする姿勢を堅持しました。

### (2) 事業実績

	目標	2011年度	2010年度	差異
介護ケアプラン数	1,671件	1,526件	1,674件	▲148件
介護予防ケアプラン数	348件	313件	317件	▲5件
一人あたり取扱件数/月※		32.6件	42.4件	▲9.8件

※一人あたり取扱件数 = {要介護ケアプラン数 + (介護予防ケアプラン ÷ 2)} ÷ 4.3 (常勤換算値)

## 11. るうてるホームサービスセンター訪問介護事業所

### (1) 運営概況

2011年度の利用者動向は、介護保険事業では、新規11名（前年度17名）、終了12名（前年度9名）、障害福祉サービス事業は、増減はありませんでした。終了の傾向としては、介護度が高く、サービス量の多い方々が死去や施設入所されたケースが多くみられました。

新規を伸ばせなかった要因としては、前年度に事業拡大するためにヘルパーの増員をし、新規顧客獲得をしてきたにも関わらず、この体制を継続することができなかったことによります。結果としてサービス供給量を減少せざるを得なかった状況になってしまいました。

障害福祉サービス事業は2012年1月1日付けで、大阪府の指定を受けることができ、今までの基準該当サービスから報酬アップしました。サービス量は比較的安定提供できました。

### (2) 事業実績

	目標	2011年度	2010年度	目標との差異
利用者数 (うち障害者)	1,020人 (156人)	846人 (125人)	946人 (129人)	▲174人 (▲31人)
のべ訪問回数(介護保険)	10,800回	8,148回	9,797回	▲2,652回
〃 (障害者)	1,500回	1,583回	1,449回	83回

## 1.2. 訪問看護ステーションの運営

### (1) 運営概況

在宅療養の推進政策による需要の増加に伴い、2011年度も件数・収入とも前年度を上回ることができました（対前年比104%・108%）。しかし、人材の確保を最も重点的な課題として取り組んで参りましたが、希望する人材は得ることはできませんでした。結果として、稼働するナースに限界があるため、前年度までの確実な伸び率は低下し、収入は結果的に目標に達することはできませんでした。また、訪問に追われる状況となったため、事業計画としてあげていた研究活動、事務の効率化、マニュアル整備も十分な実施ができませんでした。

反面、連携においては前年度に続き、訪問看護支援事業に協力し、北河内地域での病院との連携や医師との交流はすすめることができました。

### (2) 事業実績

	目標	2011年度	2010年度	目標との差異
のべ利用者数	384人	430人	432人	46人
介護保険のべ件数	1,200件	1,291件	1,188件	91件
医療保険のべ件数	2,280件	2,327件	2,281件	47件

## 1.3. 栄養部

### (1) 運営概況

2011年度もコスト意識を高め、本体とデイでの収支均衡がとれた結果となりました。デイの残食削減においては、前年度比削減率目標10%としましたが、キャンセルの対策が十分でなかったことにより、後半で食数の落ち込みがあり、結果としては達成できませんでした。

イベントとしては、「夏祭り」や「コース料理」と新しいことにも挑戦し、厨房スタッフ、職員と一緒に取り組み、コミュニケーションのよい機会となりました。味の改善としても、苦情対応や検食時のチェックを強化し、調理内容の見直しや、試作等も行っています。

新調理システムやソフト食への取り組みについては、十分ではありませんでしたが、一定の効果を得ることができました。

### (2) 実績概況

	本体施設	郷土料理	手作りおやつ(軽)	デイセンター	手作りおやつ
4月	花見弁当	大阪県	バームクーヘン	花見弁当	ワッフル
5月	端午の節句メニュー 創立記念メニュー	兵庫県	手作り皮の餃子	端午の節句メニュー	ワッフル
6月	多国籍バイキング おやつバイキング	北海道	おはぎ	郷土料理	ワッフル
7月	七夕メニュー	古都 (京都/奈良)	プリンアラモード	七夕メニュー	きなこわらびもち黒蜜かけ
8月	夏祭り	四国地方	冷やし善哉	夏対策メニュー ウギチヂリ・トコロシ 流し素麺	きなこわらびもち黒蜜かけ

9月	敬老祝いメニュー	三重県	カレリヤンピラッカ	敬老祝いメニュー	きなこわらびもち黒蜜かけ
10月		中国地方	みそ作り	おにぎりバイング	五平餅
11月	文化祭	鹿児島県	ポテアップルカト	きのこずくし	五平餅
12月	クリスマス祝会 もちつき	関東地方	善哉	クリスマス もちつき	五平餅
1月	おせち料理 お餅パーティー(軽/特)	長崎県	豚まん	おせち料理	白玉善哉
2月	節分メニュー 鍋バイキング(軽) すき焼き(特) お餅パーティー(軽) 手作りおやつ(特)	愛知県	ハンバーガー	節分メニュー 芋煮会 すき焼き(D)	白玉善哉
3月	雛祭りメニュー 握り寿司バイング (軽)(特) お餅パーティー(軽)	熊本県	味噌かりんとう (手作りみそを使 って)	寄せ鍋(D)	白玉善哉

#### 1.4. 事務部

##### (1) 運営概況

###### ①業務環境整備

- ア. 事務所内の長期保存文書を保管庫に移動し、整備しやすくしました。
- イ. 事務の書式見直しを行い、業務文書類も随時使いやすいものへと移行していきました。法令順守の観点からも、適切な文書作成をスピーディに行えていっています。
- ウ. 業務レベル向上のため、積極的に外部の研修を受講いたしました。

###### ②施設整備の状況

- ア. エアコンの故障に対して修繕と買い換えを行いました。
- ウ. 厨房用冷蔵庫が故障しましたので、買い換えました。
- エ. トイレ内のパーティション工事を3カ所行いました。
- オ. 水道関連設備の老朽化はさらに進んでいます。各所で漏水などの修繕を行いました。

###### ③福祉パッケージソフト、医療請求ソフトについて

請求業務は瑕疵なく行われています。ソフトウェア活用について事業所間格差が見られるため、プロジェクトチームを立ち上げ、検討を始めました。

###### ④予算管理資料の作成について

- ア. 毎月の管理者会議において配布する資料に介護保険収入、利用者負担金収入、経常経費補助金、診療報酬などの収入状況を事業所毎に明示し、予算に対する達成率や前年度比なども表示しています。また、支出部門では、基本的な水光熱費、ガソリン代、コピー費、超過勤務時間数をグラフにて示し、管理者が事業所運営に活用できるようにしています。
- イ. 上記収入については、会議の席上で配布する資料だけでなく、より詳細な計数は法人内の共通掲示板にて情報を共有し、必要な情報を担当者が検索できるようにすると共に、会計入力もすぐ行うことにより、収支にも反映させています。
- ウ. 各事業所の支出内容を精査し、より適切な選択を行えるようサポートするとともに、消耗品の一元管理への移行を進めているところです。